資料４―５

第 21 回本部員会議資料
令 和 ２ 年 ９ 月 ３ 日
広 域 振 興 局

# 地域別の取組状況について

| 《地域名》県央広域振興圏 | 管轄部局：盛岡広域振興局 |
| --- | --- |

《取組状況》

１　イベント等における取組状況

【管内市町・盛岡広域振興局】

○　感染予防に加え、来庁者の安全、安心に配慮し、玄関に来庁者向けの消毒液を配置、窓口にはビニールカーテン、アクリル版等を設置。（管内市町・振興局）

○　執務中の職員は、マスク着用を励行するとともに、会議、打合せは、ソーシャルディスタンスに配慮した配席を実施。（管内市町・振興局）

○　感染対策徹底や、接触確認アプリ等について、全戸配布により住民に啓発を実施。（管内市町）

○　県内初の感染発生により県対策本部員会議が開催されたことを受けて、各市町の対策本部会議を開催し、情報共有や今後の対応の協議等を実施。（管内市町）

○　お盆については、感染対策の徹底を呼びかける、感染拡大地域からの帰省者は２週間不要不急の外出を控えるよう要請、などの対応を実施。（管内市町）

○　新型コロナウイルス感染症対策本部盛岡地方支部会議において、管内市町の対策の状況を取りまとめ情報共有。（振興局）

○　合同庁舎玄関ホールへのサーモグラフィカメラの設置、県民ホールのレイアウト変更（数を減らし間隔を空けた椅子配置、新聞等の撤去、ドア開放による換気、注意喚起文の掲示）。（振興局）

○　一般からの感染防止に係る相談への対応。（県央保健所）

○　振興局内各部で県央保健所の業務支援を実施。（振興局・県央保健所）

【管内商工団体】

○　主な開催イベントでは次のような対策を実施。

・〔スポーツクライミング第 33 回リードジャパンカップ（8/9～8/11）〕無観客で盛岡市の県営運動公園で開催した。（盛岡観光コンベンション協会）

・〔八幡平市ふるさと花火まつり（8/15）〕飲食屋台の出店をなくし、時間を 30 分に短縮して、花火の打ち上げのみを実施（八幡平市商工観光課）

・〔八幡平ヒルクライム 2020（8/30）〕予定どおり開催予定であるが、出場者の体調確認や同居家族に感染が疑われる人がいないか等のチェックを実施。例年開催している開・閉会式、抽選会は実施しない。（八幡平市商工観光課）

・〔雫石軽トラ市（8/2）〕7/12 の開催に引き続き、出店者に対して出店前１週間の体温・体調管理表の記載、販売時のマスク着用・消毒・飛沫感染防止対策・テイクアウト対応・客が並ぶ場合の密集の回避などを事前に通知して求めたほか、会場では休憩スペースやごみ箱の無設置、会場内イベントの中止などの対策を実施。「もしサポ岩手」も導入。次回 9/6 にも同様の対策を取り開催予定。（雫石商工会）

・〔商品抽選会〕町内の店舗での買い物でたまるポイントカードの商品抽選会を約 100 名参加で 8/23 に実施。来場者には入場時の検温・マスク着用・消毒を実施し、ソーシャルディスタン

スの確保の順守を呼びかけ、連絡先を記載した名簿を作成した。（葛巻町商工会）

・**〔パネル展の開催〕**矢巾町の煙山ひまわりパークは、コロナウイルス感染症の影響で栽培が初めて中止となったが、町がＳＮＳを通じてひまわりの写真を発信しているほか、矢幅駅等でパネル展を開催。（矢巾町産業観光課）

**２　事業者への支援体制等の状況**

○　複数の商工会で、会員に対する啓蒙として、経営相談時の指導、HPや会報へのマニュアル掲載、厚生労働省の資料提供等を実施。

○　感染拡大防止に会員が積極的に取り組むため「新型コロナウイルス感染症対策モリアゲ宣言」ポスター（Ａ４版）を6,000枚作成し、9/1以降、会員等に配布予定。（盛岡商工会議所）

○　独自の「宿泊施設ガイドラインチェック票」と「新しい旅のエチケット（旅行連絡会。協力：国土交通省・観光庁）」を8/17から宿泊事業者に対し配布開始。（八幡平市商工会）

○　新型コロナウイルス感染症対策に係る問い合わせ窓口一覧を作成し、局内職員へ周知し、来庁者の相談に適確に対応できる体制を構築。（振興局）

**《今後の取組方向》**

○　新しい生活様式とイベント開催等の両立に向け、管内市町等との情報共有を図る。

○　**支部会議を随時開催し、**新しい生活様式に対応した**管内市町の感染防止への独自の取組について情報共有**を図り、感染防止に連携して取り組む。

○　**支部会議について、**感染防止対策に加え、情報共有の迅速化を図るため**リモート形式で開催。**

| 《地域名》県南広域振興圏 | 管轄部局：県南広域振興局 |
|---|---|

《取組状況》

1　イベント等における取組状況

○　県南エリアの伝統工芸をはじめとするものづくりの現場を見学・体験していただく**「オープンファクトリー五感市（ごかんいち）」**について、10 月下旬からライブ動画配信やオンラインショップをベースとした**「オンライン五感市」を新たに開催**する予定。

○　北上市、西和賀町、金ケ崎町の飲食店等で県内の旬の農畜産物を使った料理を提供する**「旬彩ごほうびフェア」**（10 月及び２月）について、開催に当たり、**参加飲食店等の新型コロナ対策を併せて情報発信**。

○　県南エリアで行われるマラソン大会を結び、完走数によって称号と賞品が得られる**「レジェンドランナーズ」は**、対象となる市町のマラソン大会が中止となる中、個人単位で参加できるレジェンドジャンパーズ、レジェンドバーチャルロングラン、県南トータルキロメーターズを追加実施。さらに、**今年度初の実走企画として、プロギングＤＡＹ（ごみ拾いしながらジョギングするもの。）を、新型コロナ感染対策を講じた上で、９月 27 日に一関市で実施**予定。

○　**平泉世界遺産祭 2020**（９月５日、６日）、**いちのせき秋祭り商工フェスタ**（10 月 24 日、25 日）及び**いちのせき秋祭り農業フェスタ**（10 月 31 日及び 11 月１日）」等が、**新型コロナ感染対策を講じた上で実施される予定。**

2　事業者への支援等の状況

○　**商工会、商工会議所を通じ、「地域企業感染症対策等支援事業費補助事業」を周知・活用しながら、事業者による感染症対策を促進。**（消毒液・マスクの購入、ビニールカーテン・アクリル板の設置等。なお、業種、事業者の規模等により進捗度が異なっている。）

○　管内市町や商工会議所等の商工関係支援窓口を結ぶ**「南いわて商工相談・支援ネットワーク」**を構築し、**関係機関が情報を共有・連携しながら、事業者からの支援策等に関する相談に対応。**

○　３月に本局産業振興室に設置した**「新型コロナウイルス感染症に係る中小企業事業者向け金融相談窓口」**を７月１日から**花巻・一関総務センターにも拡充**し、週１日、出張経営相談を行うともに、**随時（９時～17 時）リモート相談に対応。**

《今後の取組方向》

○　**感染リスクを抑えるため、今後ともＩＴ技術を活用**しながら、引き続きイベント等の開催、情報発信や事業者の支援に取り組む。

○　企業を対象とした**人材確保・育成研修**（採用力向上研修、接遇研修等）、定住促進や関係人口創出のための**セミナーやワークショップ**の一部に、**オンライン方式を導入**していく。

| 《地域名》沿岸広域振興圏 | 管轄部局：沿岸広域振興局 |
| --- | --- |

《取組状況》

1　イベント等における取組状況

○　７月 29 日、宮古市において、知事、宮古市長、観光関係者等が出席し、主に県内からの誘客を目的とした**「夏いわて　さんりく海日和キャンペーン」**の**ＰＲイベント**を開催。**夏の三陸観光の魅力**や**感染症対策の取組**などを**情報発信**。

　なお、同キャンペーンにおける**シールラリーの応募状況（７月末分）**を分析すると、**65.5%が沿岸地域以外からの応募。地域別の複数種類シールを貼付した応募が 40.7%**で、**沿岸部の各エリアを周遊する効果**もみられる。

○　８月１日、山田町では、**東日本大震災津波後初めて**となる**山田湾のオランダ島海水浴場の海開き**を実施。新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ、**町民限定**、**予約制**で開放。

○　海開きの多くが中止となる中で、７月 23～26 日、釜石市**根浜海岸**において、根浜あおぞらパーク実行委員会が**「根浜あおぞらビーチパーク」**を開催。**事前予約による３密回避や感染症対策を講じた上**で、「スタンドアップパドルボード（ＳＵＰ）」やシュノーケリング、シーカヤック、漁船クルージング体験など、**幅広い世代が楽しめる様々な体験プログラムを提供**。

○　８月１日、陸前高田市観光物産協会が**「みちのく潮風トレイル 陸前高田ルート開通３周年記念トークイベント」**を開催。**新しい生活様式への対応**として**オンラインでも生配信**し、**視聴者との質問のやり取り**も行われた。全容は、YouTube 内の**陸前高田市観光チャンネル**で**配信中**。

2　事業者への支援体制等の状況

**【釜石・宮古・大船渡保健所】**

○　**「新しい生活様式」**について、**研修会や広報誌掲載**などにより**普及啓発に注力**。

（主な対象等）

・医療・介護・福祉施設　　・精神保健福祉関係機関・団体　　・商工団体中小企業者

・食品衛生責任者　　・市町村等避難所運営関係者

**【市・商工団体】**

○　**宮古市**では、**宮古市出身学生と売り上げ減少に悩む市内事業者を支援**するため、市内高校等を卒業して市外の大学等に通う学生に対し、１万円相当の**特産品を贈る「ウミネコミヤコの潮風便」**を実施。８月 15 日までに 504 人が申し込み。最終申し込みは８月 31 日で９月下旬に発送。

○　**釜石市**では、飲食店、小売業、タクシー事業者等の需要を喚起するため、額面１万円分を５千円で購入できる**プレミアム付き食事・商品券（かまいしエール券）を８月６日から販売**。併せて、県民が市内に宿泊する場合に３千円を助成する**「かまいし宿泊得得キャンペーン」**を実施。

○　**大船渡市**では、９月からサービス業等の売上確保・消費喚起を図るため、**１世帯に１万円の「ふるさと振興券」**を配布するほか、市内の宿泊料金等を助成（市民は５千円割引。県民は４千円割引と千円クーポン）する**「大船渡に泊まって Happy！大作戦」**を実施。

○　**大船渡商工会議所**では、市内の事業所が生産する各種物産品の贈答利用を後押しする**「大船渡ふるさと応援便」（先着千人分の送料は無料）**を 11 月実施に向けて準備中。

《今後の取組方向》

○　**「新しい生活様式」の実践**に向け、**新型コロナウイルス感染症対策本部支部会議**や**意見交換会**などを通じた**市町村との連携強化**と併せ、**広域振興局独自の地域経済対策事業**を**追加実施**。

（追加事業）　観光関連事業３件、地元産直の販売支援事業１件

| 《地域名》県北広域振興圏 | 管轄部局：県北広域振興局 |
| --- | --- |

《取組状況》

1　イベントやお盆期間中・前の取組状況

(1) 市町村

○　**久慈市**では、**修学旅行の受入れ**について、宿泊先を地元民家から平庭山荘へ変更し、体調管理や１部屋当たりの宿泊人数を減らすなどの**対策を採った上で、８月 25 日から開始**。
（※振興局では久慈市に対し、受け入れる修学旅行生の体調不良時の対応について助言。）

○　**二戸市**では、お盆期間及び夏季休暇の過ごし方について、**ホームページで感染拡大防止対策の徹底を周知**。

○　**普代村**では、７月 30 日から、**村外からの来訪者に検温と来訪者カードの記入をお願い**し、その記録を取っている。

○　**軽米町**では、**成人式は延期、敬老会は規模を縮小**して開催。

○　**洋野町**では、夏休みやお盆の帰省客の対応として、新しい生活様式と感染予防対策の再確認を目的とした**チラシを７月 31 日に全戸配布**。チラシには**コールセンターの番号を大きく記載**。

○　**一戸町**では、お盆の帰省客への対応として、町民に向け**ホームページ及びチラシの配布により感染予防対策**を徹底。また、**成人式は延期、敬老会は中止**。

○　**市町村文化祭**について、複数の市町村では、**新しい生活様式を採り入れた形で**例年どおり 10～12 月の**開催を検討中**。また、**開催中止や無観客による発表**などを検討中の市町村もある。

(2) 民間等

○　**ジョブカフェ久慈**では、利用者同士の三密を回避するため、**事前予約制により相談対応**。

○　**NPO 法人やませデザイン会議**では、７月から非営利団体向けに**非接触型体温計、「検温中」ののぼり旗、のぼり旗用室内スタンド、フェイスシールド、手指消毒剤などを貸出し**。

**【商工業・観光・公共交通】**

○　**県北を代表する観光イベント**である北限の海女フェスティバル、久慈秋まつり、二戸市民文士劇、二戸まつりなどは、**早期に中止が決定**。

○　**久慈琥珀博物館**では、**人数を制限**した上で**琥珀採掘体験**を実施。

○　**もぐらんぴあ**では、三密防止のため夏の**特別企画を中止**。

○　普代村の**国民宿舎くろさき荘**では、三密を防ぐため、**定員を半数程度に制限**して宿泊客を受入れ。

○　**県北バス**では、**久慈大野線**について、**通学生の乗車が多い平日朝の便は空気洗浄機を搭載した大型車を使用**。そのほか全路線について、運転手と乗客の間の仕切りの設置、乗客どうしが距離を取った乗車を促すなどの対策を採りながら運行。
　**きずな号（久慈・東京線）**は、都内で感染拡大が続いているため４月 16 日から**運休中**。

(3) 振興局

○　７月３日、参加者への**検温や会場の換気など感染防止対策を講じた上で**、新社会人向け職場定着セミナー**「フレッシャーズ・カフェ」を開催**。

○　９月２日、久慈・二戸管内の**医師、看護師等医療従事者を対象とした「久慈地域医療安全対策研修会」**を**オンラインで開催**。

・　内容　「新型コロナウイルス感染症の基本的安全管理について」

・　講師　岩手医科大学付属病院　感染制御部 部長　櫻井 滋 氏

○　普代村との共催により**11月８日に開催予定のフォトロゲイニング大会**は、８月17日から参加者の募集を開始。募集チラシ等には、**国や居住自治体の指示・指針に従った適切な行動をお願い**する旨明記。

**２　県内における感染者発生後の取組状況**

○　県北局では、県本部員会議の情報をいち早く市町村や関係機関と共有するため、管内市町村担当者等に合同庁舎内で本部員会議をライブ視聴（あるいは録画を視聴）していただき、その後直ちに地方支部員会議を開催する等の方法を採用。

**＜久慈管内での感染者発生（８月６日）後＞**

○　久慈保健所では、久慈市担当者を所内に招き県の記者会見放送を共に視聴し、その後、**保健所と市で住民からの問合せに対する対応方針を確認**。また、**感染者の勤務先に消毒方法を指導**。

○　管内での感染者増を受け、本部員会議の開催とは別に、久慈（8/21）及び二戸（8/27）の地方支部委員会議を開催。

県北局からは**管内の感染者発生状況及びその後の状況等を報告**し、市町村からは**お盆期間中・後の帰省者の状況や住民からの相談対応の状況等を報告**。

○　**久慈市**

・　**市長が防災無線で「冷静な対応と感染防止の徹底」を市民に呼びかけ。**

・　**ヤマセあきんど祭りの２日目以降（８月７日～８日）の中止**を決定。今後開催予定であった**８月のべっぴん夜市、ガタゴン夜市、闘牛大会は中止。**

・　地域団体の主催イベントについて、感染予防対策を徹底した上で可能とはしているが、**より厳しく慎重に判断してほしい旨周知。**

・　市民への感染対策について、**防災無線、ホームページ、ＳＮＳで注意喚起を徹底。**

○　**洋野町**では、例年予定している**畜産まつり（９月12日）**、青森県階上町との**県境合同交通安全推進大会、ふるさと交流まつり（11月）の中止**を決定。

○　**野田村**では、**出勤時の職員の検温**と**来客者の記録**を**８月17日から実施**。また、感染予防について、**防災無線、**全世帯設置の**情報端末、ホームページ**で村民に**周知**。

**《今後の取組方向》**

感染の拡大を防ぎ、社会・経済への負の影響を最小限に抑えていくため、地方支部委員会議を随時開催し、**引き続き市町村等の関係機関と情報共有を図り、連携して取り組む。**